

原水爆禁止国民平和行進ニュース

発行：中央実行委員会事務局 日本原水協 電話：03 - 5842 - 6035 2026年
FAX：03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com 5月21日

2026年東京→広島コース通し行進者 静岡へ

5月6日に東京都江東区夢の島の第五福竜丸展示館前を出発した東京→広島コースは翌7日から神奈川県内を歩き、19日に神奈川県から静岡県に引き継がれました。通し行進者の尾崎庸美さんと三浦コト子さんの神奈川県内を歩いた感想をそれぞれ紹介します。

尾崎庸美（おざき・つねみ）さん

繁華街、住宅地、長崎に負けない坂道、たった一つの村、そして米軍相模総合補給廠、広い神奈川県、神奈川は横浜周辺と地理的に疎かったことを反省。団地、沿道のマンション、思いもかけず、手を振ってくださる方が多かったこと。被災者の会の長崎出身の方にたくさんお会いしたこと。中学校の先輩も、お兄さん、お姉さんがたくさんできました。まだまだ元気に歩かれていて、早く願いをかなえたいと思いました。

清川村長さんの平和へのとりくみは、子どもたちを広島に送り出すなど、村民を巻き込んだものでした。神奈川県各自治体の反核平和都市宣言がつくられた当時の思いは、もっと歴史を知りたいと思いました。

箱根湯本での行進は、両サイドの歩道から国内外の観光客が手振り、グッドサインなど送ってくれ、核兵器のない世界を待っている！と感じました。



三浦コト子（みうら・ことこ）さん

被爆者が大勢いて平和行進も必ず参加！一緒に歩いて行きます。すごいです。最後の力をふりしぼって頑張っていました。私達がしっかり受け継がなきゃいけないと思うばかりです。

集会では首長のメッセージを受けた後、お礼のメッセージを読み上げさらに要請もする、今回は県原水協の三井靖広事務局長も私もニューヨークの国連本部でのNPT（核不拡散条約）再検討会議傍聴の感想を必ず発表しました。

神奈川県は被爆者の会と生協と平和行進実行委員会と三者で懇談会を作って平和行進を成功させていました。920万人都市、100人、200人参加！大都市もさながら、いまこの時世を表していると感じました。

